

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

OLYMPUS Investor Day 2017  
科学事業 (SSBU)

2017年9月13日  
オリンパス株式会社  
代表取締役社長執行役員  
笹 宏行

*16CSP*

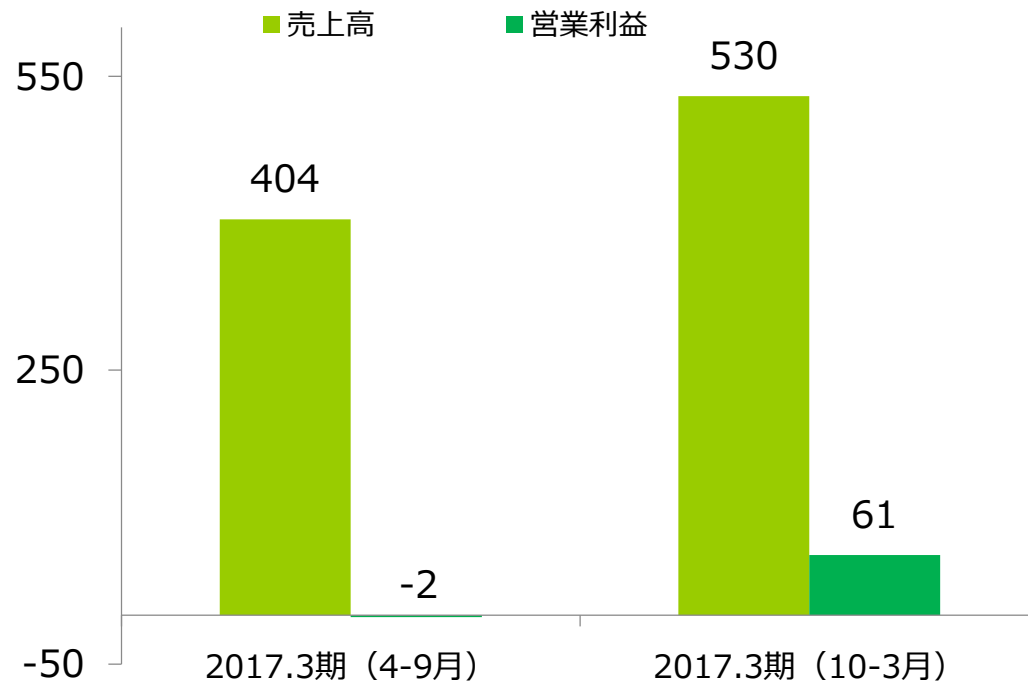
- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

# 戦略課題（事業戦略）の進捗

1

顧客群別のメリハリのある取り組みにより、継続的オーガニック成長と、10%以上の営業利益を安定して確保

<2017.3期 売上高・営業利益>



<2017.3期導入新製品>

## ライフ研究

共焦点レーザー走査型顕微鏡  
「FV3000」シリーズ



## 製造、インフラメンテナンス

工業用ビデオスコープ  
「IPLEX NX」シリーズ



## 環境・天然資源

ハンドヘルド蛍光X線分析計  
「VANTA」シリーズ



上期： 急激な円高や一部製品の納品遅れ、新製品導入遅れにより売上低迷

下期： 市況好転と内部要因解消、新製品効果により急速に回復

# 16CSP目標達成に向けた今後の取り組み

## 顧客群別戦略の着実な実行

1

### 既存事業の成長と収益性強化

- ✓ 病理検査市場に対するソリューション拡大
- ✓ 産業用検査機器の自動化・IoT対応推進
- ✓ 事業基盤のグローバル共通化による収益性改善

2

### 重点顧客群へのポートフォリオ拡大

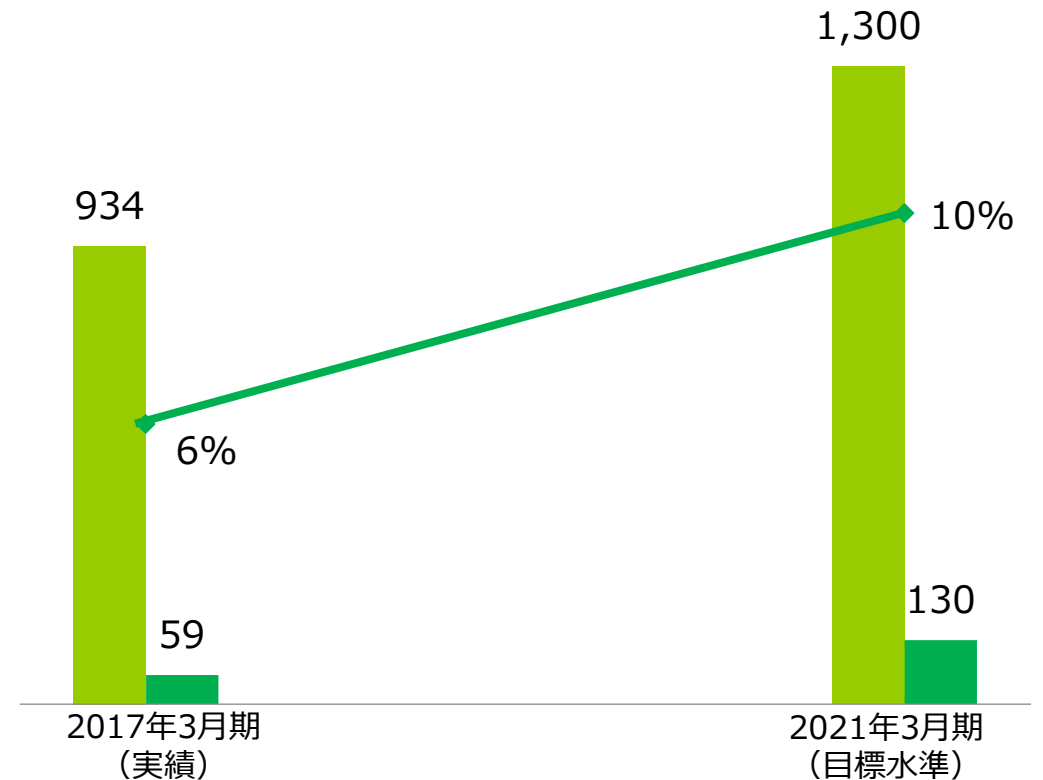
- ✓ クリニカル（病理検査）、製造、インフラメンテナンス顧客群を中心にポートフォリオ拡大

3

### 創薬・再生医療向けのソリューション開発拡大

- ✓ 今後の市場拡大を見据え、新製品開発に向けた継続的な投資を実施

売上高 営業利益 営業利益率



**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

OLYMPUS Investor Day 2017  
映像事業 (IMBU)

2017年9月13日  
オリンパス株式会社  
代表取締役社長執行役員  
笹 宏行

*16CSP*

## 1 選択と集中、市場縮小への備え

### ① 事業構造改革の継続的推進

#### ■ 収益性の高いOM-Dシリーズ、PROレンズの開発に注力

- フラッグシップ機「OM-D E-M1 Mark II」、交換レンズ「M.ZUIKO PRO」シリーズ2本をリリース

#### ■ 製造機能集約による製造コスト上昇抑制および製品立ち上げ効率の向上

- 深センからベトナムへの製造移管を着実に推進

### ② 市場変化への対応力向上

#### ■ 各地域でチャネル戦略・費用構造の見直しを推進し、収益力が大幅に向上

### ③ 在庫リスク極小化

#### ■ サプライ・チェーン・マネジメントのプロセス改善を着実に推進

- 生産の平準化、在庫水準の適切なコントロール
- 品種数の削減（コンパクト・オーディオ製品数、一眼レンズキット種類の削減）
- リードタイム短縮（一部製品をベトナムからの直送開始）

## 2 オリンパスらしさの明確化と徹底

- 特徴的な価値を特定の顧客（Specialist）にフォーカスして提供する事業として、市場において確固たるポジションを保持する
  - 「カメラグランプリ2017」にて「OM-D E-M1 Mark II」が「大賞」と「あなたが選ぶベストカメラ賞」、  
「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」が「レンズ賞」を受賞
  - 欧州を代表するフォト・アンド・イメージング・アワード「TIPA AWARD 2017」を受賞
- 先進デジタル・ネットワーク技術により、グループ全体の技術のドライバーとしての役割を果たす

① 先端デジタル技術

科学事業

「再生医療向けのソリューション開発」において、先端デジタル技術を活用し、次世代製品を開発中

② 低コスト生産設計力

医療事業

エネルギーデバイス製品の低コスト量産技術、複合部品一体化技術、小型化技術などを活用して、次世代エネルギーデバイス製品を開発中

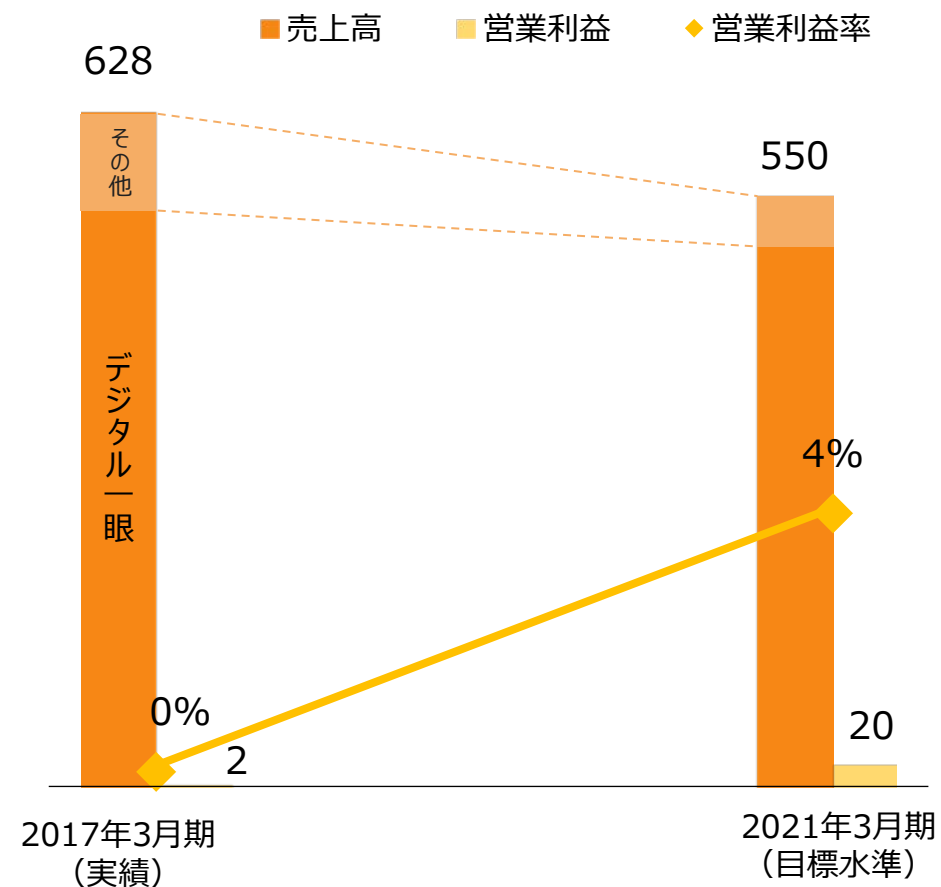
③ モバイル技術

# 16CSP目標達成に向けた今後の取り組み

高付加価値ビジネスを推進し、継続的に収益性を改善

黒字化構造を磐石なものにし、“Business to Specialistモデル”の推進を強化

- 収益性の高いOM-D シリーズ、PROレンズの拡販
- プロ・ハイアマユーザー顧客層拡大のための製品開発強化
- 費用効率の向上
- 在庫リスク極小化、製造原価低減の継続的な推進





**OLYMPUS**

---